

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 19 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」阪急桂駅前校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切である	○			適切な人数を確保しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		バリアフリー等について現行の基準に照らし課題があるため近く校舎移転を予定しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		日常の清掃、換気、加湿等にも留意しています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		○	日常的な相談、協議により業務改善に努めています。	PDCA サイクルの本格導入は今後の検討課題であると考えています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		必要に応じ各種アンケートを行い保護者のニーズ確認と業務改善に努めています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			評価結果は事業所内に掲示するほか当社HPで公表しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			現在は利用者、事業所の二者評価を行っています。今後必要に応じ第三者による外部評価についても検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			初任者研修や全職員対象の定例研修を実施しています。行政等の研修も積極参加しています。
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			アセスメント評価および保護者からのヒアリングに基づきサービス計画を作成しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			社内統一の様式にもとづき、目標ごとの達成度と課題を踏まえてお子さまの成長を評価しています。

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			アセスメントをもとに複数の項目を組み合わせてサービス計画を作成しています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画を保護者と共有し、それに沿って支援を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			必要に応じて事例を共有、議論した上それぞれが立案しています。全社的なノウハウの蓄積システム「支援の工夫集」も整備しています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			お一人ずつのニーズにあわせオーダーメイドの療育を行っています。毎回のフィードバックで保護者のお声も十分に伺っています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			個別活動により支援計画を作成しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			毎朝、支援の段取りやスペースの割り振り等を協議する際、必要に応じ役割分担や連携について確認しています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			緊急課題を除き、通常は翌朝にミーティング等で情報を共有しています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			社内の統一書式で毎回記録を取り、支援に生かしています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			計画期間（6か月）ごとにモニタリングを実施し、それに基づきサービス計画を見直しています。
	関係機関や保護者と	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			必要に応じ保護者のご了解を得て関係機関と連携しています。
㉓		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			現在のところ医療ケアの必要なお子さまの受け入れは行っていません。

の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		現在のところ医療ケアの必要なお子さまの受け入れは行っていません。
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		これまで事例がありませんが、保護者のご要望と園側の上承があれば積極的に連携を取らせていただきます。
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		これまで事例がありませんが、保護者のご要望と学校側の上承があれば積極的に連携を取らせていただきます。
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		日ごろから積極的な連携に努めています。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		限られた時間のなかで地域交流は困難ですが、校舎移転後、保護者のご希望を伺い検討していきます。

	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		行政区や学区の協議会に積極的に参加しています。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		フィードバックの際に保護者のお声をしっかり伺い、お子さまの課題等に関する情報を共有し、支援に生かしています。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		保護者の相談には丁寧にお応えし、必要に応じアドバイスもさせていただいていますが、校舎としてペアレントトレーニングのレベルに達していません。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時にもれなくご説明するほか、事業所に運営規程等を掲示しています。利用者負担等は毎月の請求時にご説明しています。
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		アセスメントをもとに複数の項目を組み合わせサービス計画を作成しています。
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		支援の機会以外にも必要に応じて保護

				者の子育ての悩み等 のご相談に応じていま す。	
③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		個別療育を行っており個人情報にも配慮して保護者会等は開催していません。今後、保護者のご希望に応じて検討していきます。
③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			管理者が苦情相談窓口になり、苦情等があれば迅速、適切に対応しています。
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		会報等は発行していませんが、ブログを随時更新するほか、必要に応じ保護者へのお知らせを配布させていただいています。
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○			パスワードの設定、鍵付き書庫、シュレッダーの利用、職員研修等により個人情報の保護に留意しています。
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			お子さまの特性に応じてアプローチを工夫しています。
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		騒音等の制約があり現在の校舎では地域公開は困難です。校舎移転後に、地域交流の手法等を検討していきます。
非常時等の対応	④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			マニュアルを作成し、それに基づく対応に努めています。
	④⑫ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			毎月避難訓練等を実施しています。
	④⑬ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			来所時のご様子や指導時の声かけにより状況を確認しています。
④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		食事やおやつを提供していません。
④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			事例発生の場合は上司への報告、職場での情報共有を行い、再発の防止に努めています。
④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			毎月避難訓練等を実施しています。

	④7	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している</p>	○			<p>マニュアルを策定し研修を実施しています。やむを得ず身体拘束の必要が生じうるお子さまについては保護者のご理解を得たうえ個別支援計画に明記しています。</p>
--	----	---	---	--	--	--

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 19 日

事業所名 こどもサポート教室さきり桂駅前校 保護者等数（児童数）9 人（9） 回収数 9 人 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	○				1 対 1 の対応が十分に行えている（1 人）	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○			やや狭いと感じる（1 人）	現状で基準は満たしていますが、移転後は床面積が少し増え部屋数も増加の予定です。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○				下の子が小さいので待合室が上履きで利用できるかとい（1 人）	移転後には全面土足禁止に変更の予定です。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	○					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	○				楽しんで通っている（2 人）	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		現状で良い（2 人）	
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	○					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか				○		

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	○					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			○			
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	○					
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか				○		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	○					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	○					
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	○					
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	○				とても楽しみにしている（2人）	すべてのお子さまに「楽しい場所」、「楽しく課題に取り組める場所」と思っただけのようさらに努めてまいります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	○				満足している（2人）	保護者の皆様のお声を幅広く伺いながら支援の質の一層の向上に努めてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。